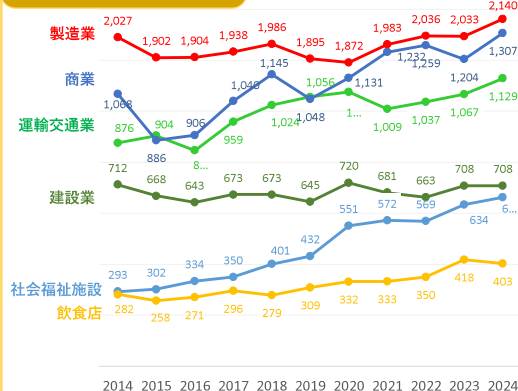


社会福祉施設の労働災害防止に向けた新たな取り組み

- 245 -

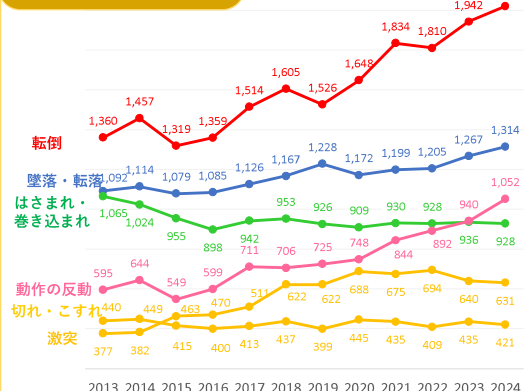
労働災害の推移（休業4日以上/愛知労働局管内）

業種別推移



- 業種別にみて最も目立つのは、**社会福祉施設でここ10年間で約2倍に増加**しています。
- **商業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業**において増加が目立ちます。

事故の型別推移



- 製造業を中心に多発が認められる、**はさまれ・巻き込まれは、長期的に減少**しています。
- 全業種の課題である**転倒と動作の反動（腰痛等）は、似たような傾向で増加**が続いています。

- 246 -

介護労働者の腰痛・転倒対策に取り組みましょう

腰痛予防対策のポイント

- 施設長等のトップが、腰痛予防対策に取り組む方針を表明し、対策実施組織を作りましょう。
- 対象者ごとの具体的な看護・介護作業について、作業姿勢、重量などの観点から、腰痛発生リスクを評価しましょう。
- 腰痛発生リスクが高い作業から優先的に、リスクの回避・定見措置を検討し、実施しましょう。健康管理、教育にも取り組みましょう。



- 247 -



保健衛生業における
腰痛の予防サイト



介護労働者の腰痛・転倒対策に取り組みましょう

- (なし) 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
 ➢ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入 (★)
 ➢ 走らせない、急がせない仕組みづくり

- 通路の段差につまずいて転倒
 ➢ 事業場内の通路の段差の解消 (★)、「見える化」
 ➢ 送迎先・訪問先での段差等による転倒防止の注意喚起

- 設備、家具などに足を引っかけて転倒
 ➢ 設備、家具等の角の「見える化」

- 利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒
 ➢ 介助の周辺動作のときも焦らせない
 介助のあとは「一呼吸置いて」から別の作業へ

- 作業場や通路以外の障害物（車止めなど）につまずいて転倒
 ➢ 適切な通路の設定
 ➢ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」

- コードなどにつまずいて転倒
 ➢ 労働者や利用者の転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる



職場3分
エクササイズ

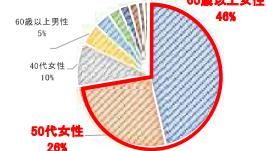


中災防 転倒予
防セミナー



社会福祉施設での転倒災害による平均休業日数（令和5年）

性別・年齢別内訳（令和5年）



46.1日

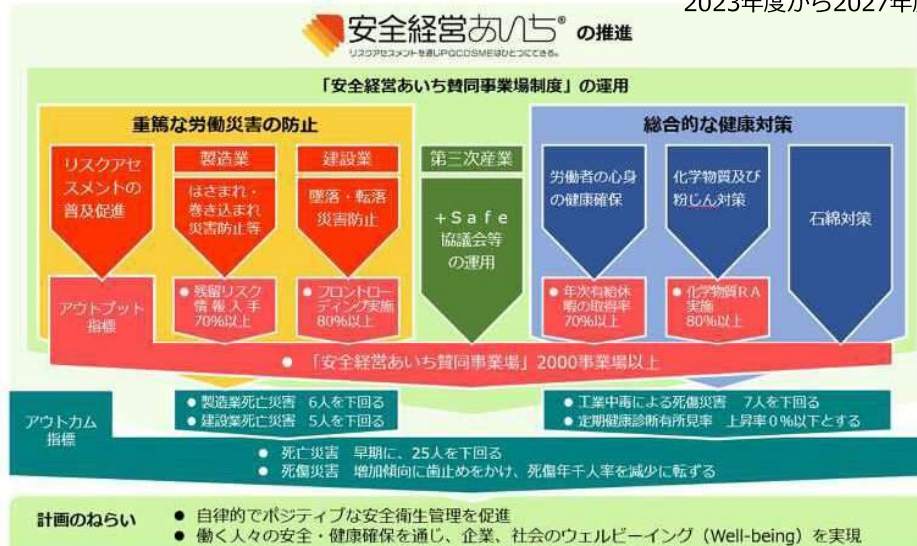
※労働者死傷病報告による休業見込日数



- 248 -

愛知労働局版第14次労働災害防止推進計画（14次防）

2023年度から2027年度までの5か年計画



- 251 -



ポジティブな安全管理へ（14次防）

これまで

- 終身雇用で知識・経験を豊富に蓄積
- 労働者の高い知見を頼りにした、日本独自の現場管理活動

これから（既に）

- 外国人労働者、派遣労働者の割合が増加。終身雇用の減少
- 知識・経験豊富な労働者の退職
知見に頼る方法は限界に

これまでは、安全を確保するためには、作業がやりにくくなり、作業効率や生産性が低下し、余計なルールが作られ、結局作業ルールを無視して災害が発生するなど、負のスパイラルとなる例が散見されました。

現場での作業等の源流（根源・その理由）に目を向け調査把握することは、安全性の向上と生産性やサービス等の向上と相関連しともに向上する理念を普及し、もって経営者の安全への前向きな取組を促すきっかけとなることを目指します。



- 252 -



安全衛生トピックス + Safe協議会

「安全経営あいち」推進大会を開催

事業運営と労働災害防止を一体的に捉える機運を醸成するため、令和8年2月4日にNitterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにて推進大会を開催します。

【テーマ】

リスクアセスメントによる「現場の実態を把握することや各部門が連携する仕組み」は、企業に求められる「リスクマネジメント」の一端を担うだけでなく、企業価値向上のための「成長」と「稼ぐ力」を支える。

第三次産業 + Safe協議会

●対象（次の主要3業種に対して各々設置）

県内に多店舗（施設）展開する企業の本社または中核となる支店

構成企業数、小売業協議会 10社、**社会福祉施設協議会 11社**、飲食店協議会 11社

●協議内容

各々の業種に特徴的な労働災害防止のための具体的手法と各店舗等での実施方法や実施にあたっての問題点の集約など

- 253 -



安全衛生トピックス



WEB 単独受講（1事業場ごと）

- 申込みいただいた事業場に、URL を通知します。リスクアセスメント等についての説明動画を、WEB にてご覧いただきます（料金不要）。
- 講義内容への質問は行えません。

受講要件

- リスクアセスメントは、事業者の責において行われるものであることから、事業者がリスクアセスメントの推進に前向きであり、その意志に基づき受講されることが必要です。

受講準備

- 配信は YouTube で行います。YouTube を視聴可能な環境をご用意ください。
- 受講者を一堂に集めて受講させるか、URL を通知の上、分散して受講させるかを定め、受講のために必要な手配を行ってください。

申込み

- あらかじめ受講日を決めた上で、WEB 申込みを行ってください。後日、URL を通知します。
- URL の通知は、期日を決めて行っているため、申込みから間が開く場合があります。ご了承ください。

出前講座受講の上
で賛同登録を

詳しくは
コチラ↓



- 254 -

